

山梨県内における健康診断実施結果概要（平成30年）

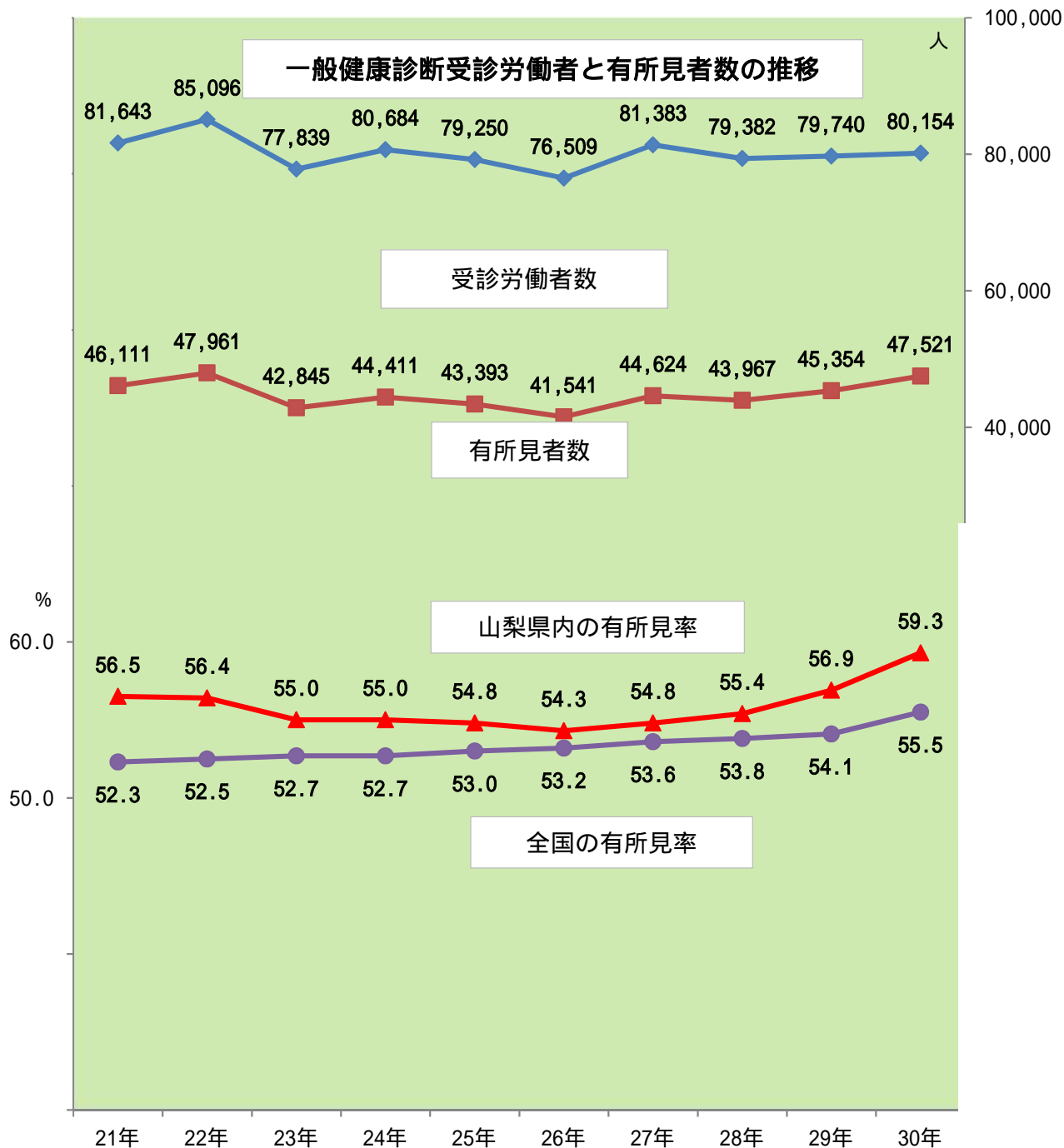
- 1 定期健康診断実施状況・・・・・・・・・・ P 2
- 2 定期健康診断有所見率の検査項目別比較・・・・・・・・ P 3
- 3 定期健康診断有所見率の業種別比較・・・・・・・・ P 4
- 4 特殊健康診断有所見率の推移・・・・・・・・・・ P 5
- 5 特殊健康診断有所見率の対象作業別比較・・・・・・・・ P 5
- 6 じん肺健康診断実施状況・・・・・・・・・・ P 6

1 定期健康診断実施状況

一般健康診断受診労働者と有所見者数の推移

平成 30 年に実施され、各事業場から労働基準監督署に報告のあった定期健康診断の山梨県内における受診労働者数は例年並みの約 8 万人でした。

有所見率は平成 17 年に 50% を超えて以降、緩やかな減少傾向でしたが、平成 27 年以降 4 年連続して増加しており、平成 30 年は 59.3% と、平成 21 年以降最も高くなり、全国の有所見率を 3.8 ポイント上回る状況となっています。



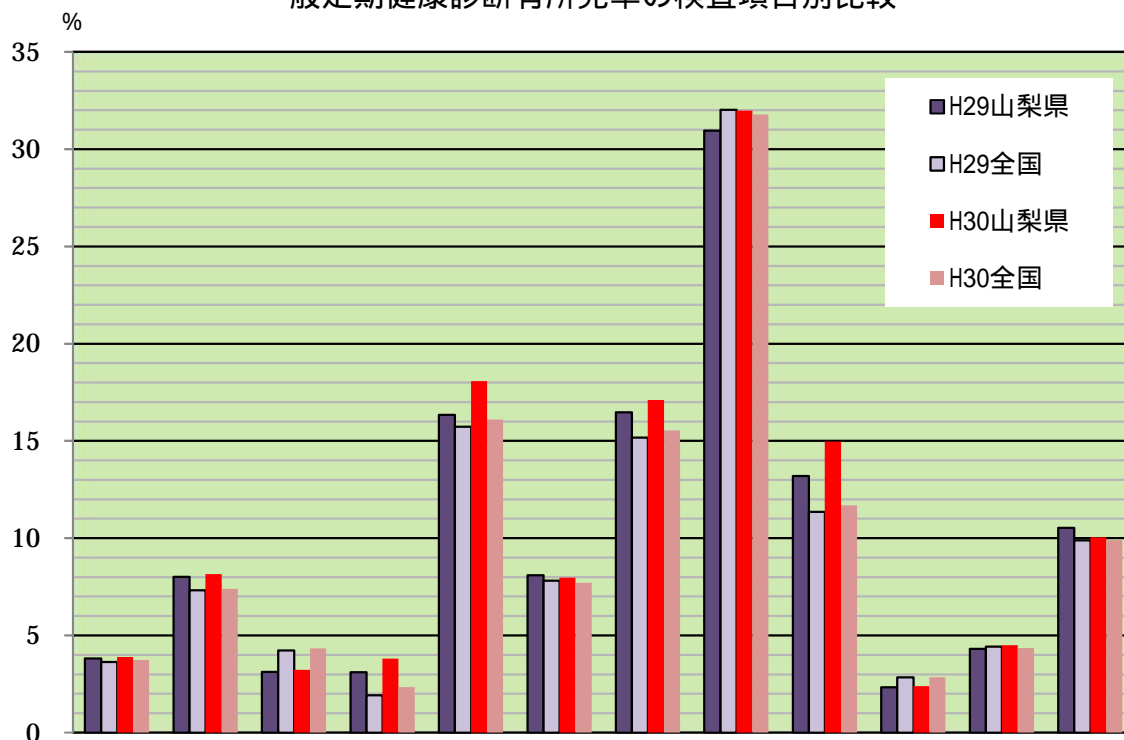
(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第 5 2 条)の集計結果による。

2 定期健康診断有所見率の検査項目別比較

平成 30 年における山梨県内の検査項目別の有所見率を高い順にみると、血中脂質検査（32.0%）が最も高く、血压（18.1%）、肝機能検査（17.1%）、血糖検査（15.0%）等の順となっており、生活習慣病と関連の高い項目が上位を占めています。

全国と比べると、胸部X線検査は有所見率が低く、血糖検査が高くなっています。

一般定期健康診断有所見率の検査項目別比較

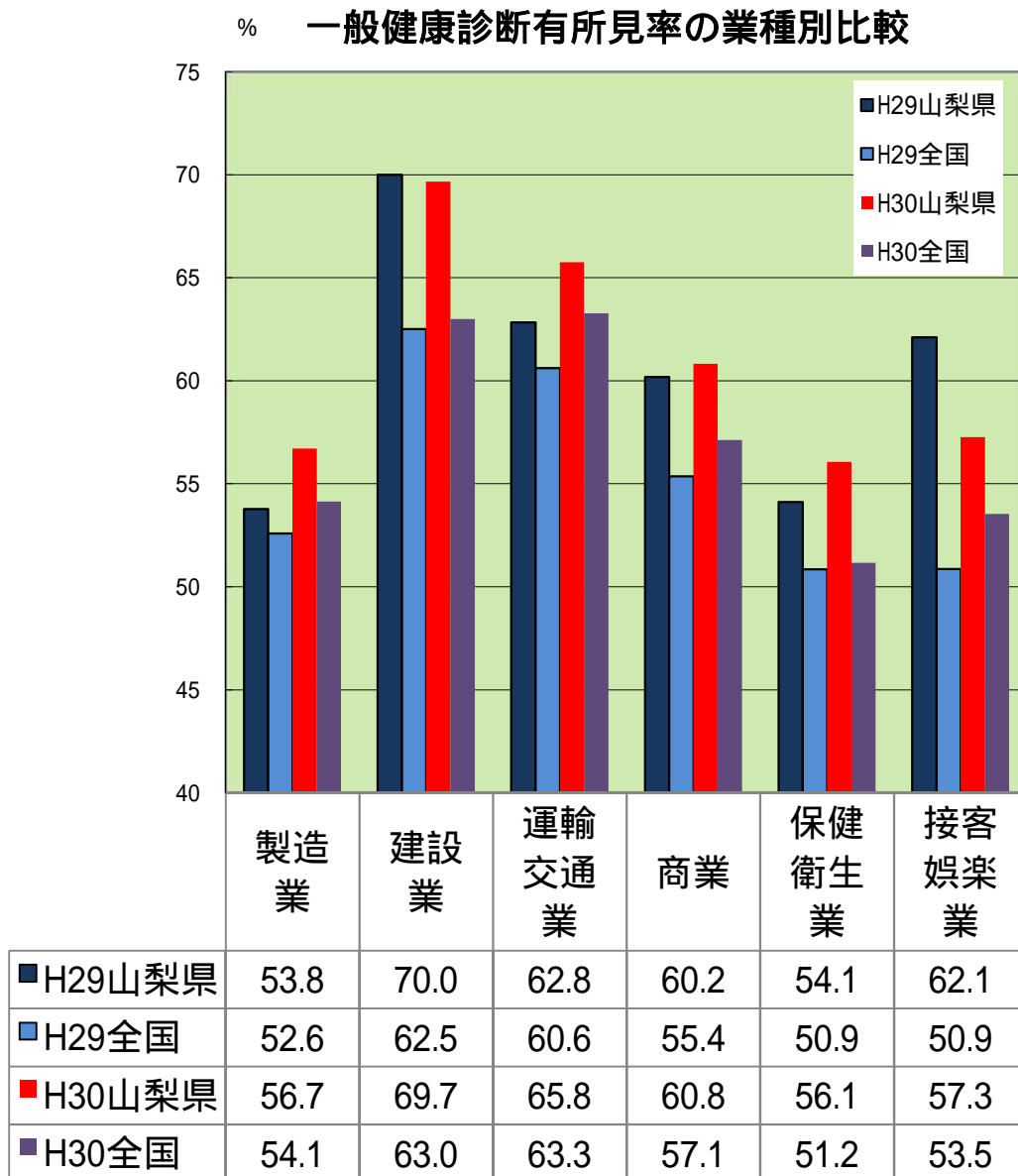


(単位: %)	聴力 1000 H z	聴力 4000 H z	胸部 X線 検査	喀痰 検査	血压	貧血 検査	肝機 能 検査	血中 脂質 検査	血糖 検査	尿 検査 (糖)	尿 検査 (蛋白)	心電 図 検査
H29 山梨県	3.8	8.0	3.1	3.1	16.3	8.1	16.5	31.0	13.2	2.3	4.3	10.5
H29 全国	3.6	7.3	4.2	1.9	15.7	7.8	15.2	32.0	11.4	2.8	4.4	9.9
H30 山梨県	3.9	8.2	3.2	3.8	18.1	8.0	17.1	32.0	15.0	2.4	4.5	10.0
H30 全国	3.7	7.4	4.3	2.3	16.1	7.7	15.5	31.8	11.7	2.9	4.4	9.9

(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条)の集計結果による。

3 定期健康診断有所見率の業種別比較

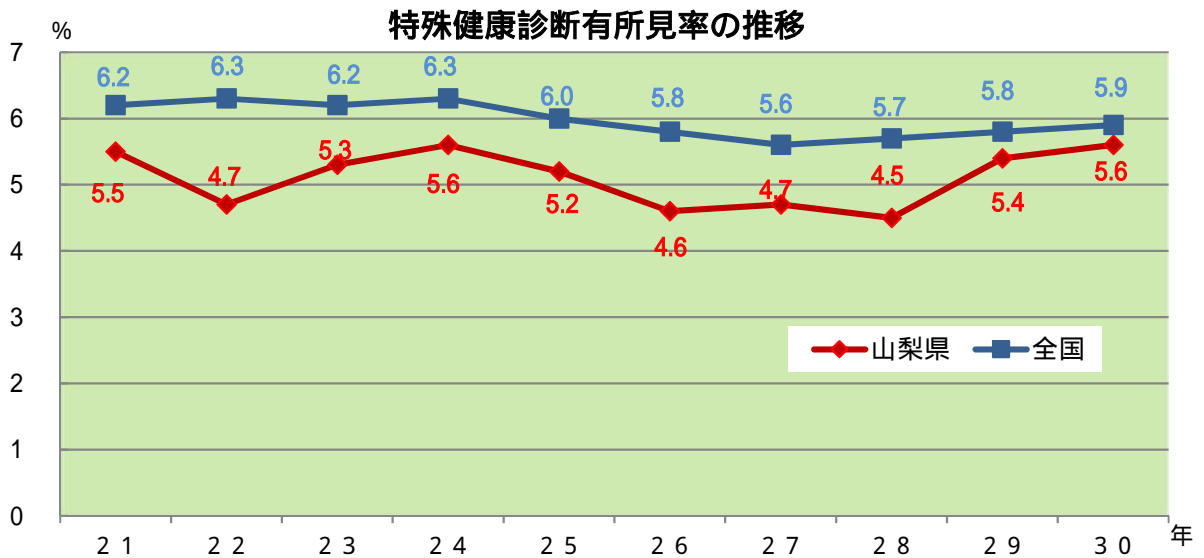
山梨県内の平成 30 年における有所見率を業種別に比較すると、建設業（69.7%）の有所見率が高いなどの特徴があります。また全国平均よりも有所見率が高い業種が多い傾向があります。



(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条)の集計結果による。

4 特殊健康診断有所見率の推移

特殊健康診断における有所見率は、全国では概ね6%台の横ばいの状況が続いていましたが、平成26年以降5%台で推移しています。山梨県内の有所見率は、全国より低い状況であり、近年は4%台で推移していましたが、29年以降5%台となっています。

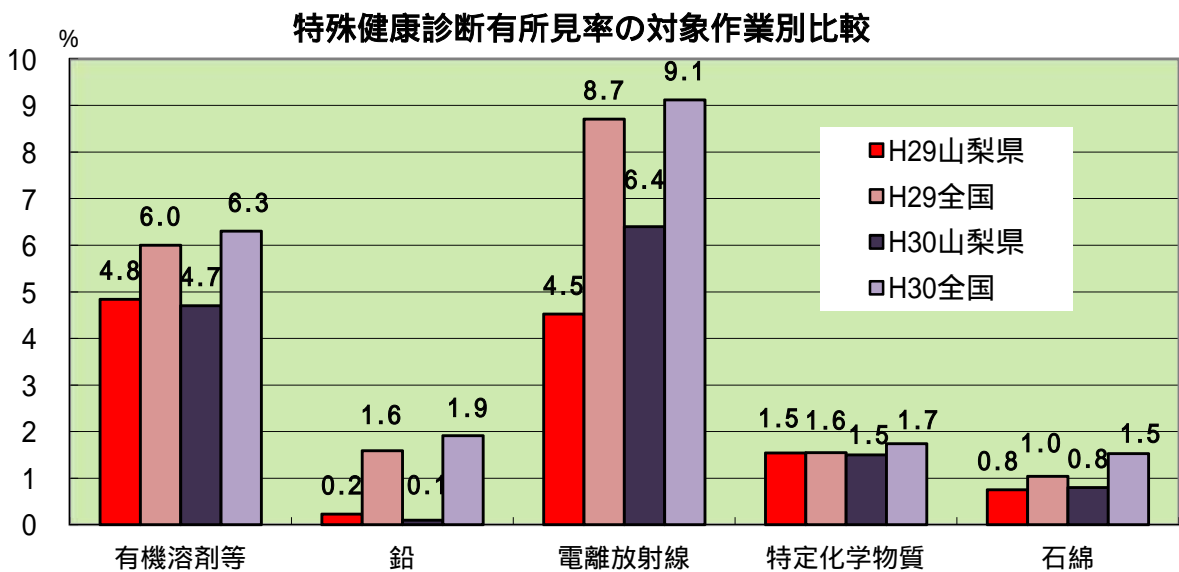


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

5 特殊健康診断有所見率の対象作業別比較

特殊健康診断における有所見率を主な対象作業別にみると、全国・山梨県内ともに有機溶剤等及び電離放射線の有所見率が他の特殊健康診断結果よりも高くなっています。

平成29年と30年の山梨県内の有所見率を比較すると、いずれの対象作業も大きな増減がなく、有所見率が高止まりしている状況です。

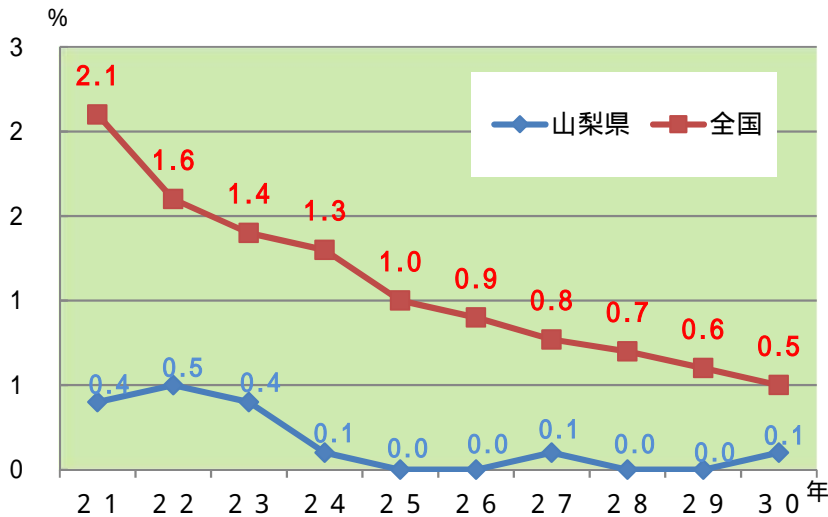


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

6 じん肺健康診断実施状況

じん肺健康診断における有所見率は、長期的には改善傾向にあり、全国では平成 26 年以降は 1 % を下回っています。山梨県内についてみると、従前から全国と比べ有所見率は低く、近年は、ほとんど有所見者が発生していない状況となっています。

じん肺健康診断有所見率の推移



(本統計中には、随時申請によるものは含まれていない。)

山梨県内の受診労働者数と新規有所見者の推移



(注) 「じん肺健康診断実施状況報告」(じん肺法施行規則第 37 条)の集計結果による。